



2024(令和6)年度 学校だより (令和7年3月21日発行)

きぬぎむ

栃木県小山市立絹義務教育学校 〒323-0155
TEL 0285-49-0141 FAX 0285-49-2764
e-mail kinugimu@oyama-tcg.ed.jp

栃木県小山市大字福良2240番地1

発行者 校長 中島 康成



桜のつばみも膨らみ始め、春の訪れを感じさせる季節となりました。保護者の皆様のご協力と、児童生徒の皆さんの頑張りで、今年も無事に学年末を迎えることができました。その集大成とも言える卒業式では、全校児童生徒が一丸となって準備をし、素晴らしい式典となりました。在校生の皆さんは、新しい学年に向けて、より良い学校生活を築いていけるよう準備を始めています。教職員一同、子どもたちの安心・安全な学校生活と健全な成長のために全力で支援して参ります。引き続き、保護者の皆様、地域の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

絹義務教育学校 第8回卒業式



3月8日、日頃から本校の教育活動に多大なご支援をいただいている地域の方々に見守られながら、卒業式を挙行いたしました。ご家族の皆様にも多数ご参加いただき、厳粛な雰囲気の中で、33名の卒業生を見送ることができました。

卒業生は、1・2年生が育て、8年生が作成した繭クラフトのコサージュを胸に入場しました。担任の呼名により、一人一人に卒業証書を授与しました。9年間の義務教育が修了したことの証です。胸を張り誇らしげな姿に、成長を実感し、心からの祝福を贈りました。また、後援会、同窓会、PTA、小山市教育委員会より、それぞれ卒業記念品が授与されました。ありがとうございました。

在校生代表MNさんの送辞、卒業生代表STさんの答辞は、これまでのたくさんの思い出と感謝の気持ちにあふれ、胸が熱くなりました。そして、式典終了後のフィナーレとなる全校合唱「旅立ちの日に」は、上級生のハーモニーの美しさと、下級生の精一杯の大きな歌声に感動し、心が震えるようでした。1年生から9年生までの児童生徒が心を一つにして奏でるすばらしさに、義務教育学校としての本校の良さを改めて感じました。

卒業生の更なる成長・活躍を祈念するとともに、これまで多大なご支援を頂いた保護者・地域の皆様に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。



染色体験（５年）

２月１７日、染色の伝統工芸士の方を講師にお招きし、染色体験を行いました。３年生の時に繭から作った角真綿に、数種類の色の染料を混ぜ合わせながら、思い思いの色に染め上げました。６年生で糸に紡ぎ、地機織りを行う予定です。



絹公民館まつり

２月２３日に行われた絹公民館まつりでは、本校の児童生徒の活躍がありました。前日には、６年生が家庭科の授業の一環として訪問し、ステージの準備や作品展示、装飾等のお手伝いをしました。また、当日には、児童生徒の作品展示や吹奏楽部の演奏がありました。多くの地域の方々と共に参加し、交流を図ることができました。



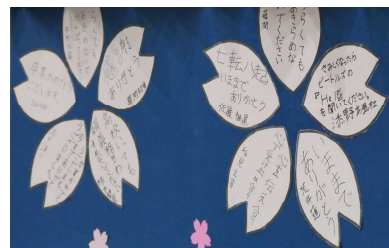
桑の葉まんじゅう作り（９年）

２月２５日、桑の葉のパウダーを混ぜた生地を使って、卒業記念のまんじゅう作りを行いました。ふるさと学習の集大成とも言える活動でした。とても美味しくできあがりました。



予餞会（卒業を祝う会）

２月２８日、予餞会を行いました。会場での参加は５年生以上でしたが、ビデオメッセージとして全学年から卒業生へ感謝の気持ちを伝えました。また、お世話になった恩師の先生方からも温かいメッセージをいただきました。思い出のスライドや素晴らしい合唱など、楽しい時間を過ごすことができました。



同窓会入会式

３月７日、同窓会長様、３名の副会長様にご臨席いただき、同窓会入会式を行いました。絹中学校と絹義務教育学校の卒業生が所属する歴史ある会に、卒業生３３名が新たに加わりました。本校の卒業生として胸を張り、今後の人生を歩んでほしいと思います。そして、これまでの支えられる立場から支える立場となり、地域の担い手となってくれることを期待しています。

【絹義務教育学校ホームページ】に掲載しています。
写真等も鮮明にご覧いただけますので、ぜひご確認ください。

<https://www.city.oyama.tochigi.jp/school/compulsory-school/kinu/>

